

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

【結核】

1) 結核について、①～⑤の () に合う記号を選んで下さい

- ・結核菌が体内に入っても、(①) 割程度は発病しない
- ・(②) が低下すると発病し、発病すると(③) 感染が可能になる
- ・専門病院での(④) が必要で、発病者の(⑤) 割程度は肺結核になる

ア) 1～2 イ) 8～9 ウ) 免疫力 エ) 気温 オ) 空気
カ) 接触 キ) 治療 ク) 消毒 ケ) 2 コ) 8

2) 結核の症状について、各段階で見られる症状をまとめてみましょう

<発病初期は…>

→ _____

<悪化すると…>

→ _____

<さらに進行すると…>

→ _____

3) 入居者に結核が疑われる場合にすべきことを、できるだけたくさん挙げましょう

()

確認テスト 解答・解説

1) 解答 ①イ ②ウ ③オ ④キ ⑤コ

<解説> 結核菌が体内に入ると「感染」しますが、その8～9割程度は発病しないと言われていています。発病していない状態では他人へ感染させる危険性はなく、感染に気が付いていない高齢者も多くいます。

感染者の1～2割程度は免疫力の低下に伴い発病し、その8割程度は肺結核になります。また、発病すると空気感染が可能となり、専門病院での治療が必要です。

2) 解答 <発病初期は…>

咳、痰、発熱など、風邪と似た症状

<悪化すると…>

倦怠感、食欲低下、息切れ、血痰など

<さらに進行すると…>

喀血、呼吸困難など

<解説> 高齢者ははっきりとした症状が出ないことも多いため、風邪症状が長く続いているような場合には注意が必要です。結核に気づかず周囲に感染を広めてしまうことがないよう、普段の様子と違うなと感じたら、すぐに報告するようにしましょう。

3) 解答 例) 早期に受診する

マスクを着用してもらう

他者との接触を避ける

個室管理を行う

十分に換気する …など

<解説> まずは、気になる症状が見られたら早期に受診するよう促しましょう。そして、診断が出るまではマスクを着用してもらい、個室管理などで他者との接触を避けます。この際、入居者本人や家族、他の利用者などが不安にならないような配慮も必要です。また、室内を十分に換気することも、感染拡大予防につながります。

なお、空気感染の予防にはN95マスクが有効です。スタンダードプリコーションの徹底とともに、施設におけるマスク着用のルールを確認しておくといでしょう。